

産業用ロボット・自動化システムの専門展

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022

ロボットテクノロジー・ジャパン

期間

2022.6.30(木) ▶ 7.2(土)

開催場所

(愛知県国際展示場)

Aichi Sky Expo

開催時間

10:00 ~ 17:00

入場料

大人1人 1000円

ただし、公式Webサイトからの事前登録者、
海外来場者、学生は無料

製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる

【主催】ニュースダイジェスト社 【共催】愛知県機械工具商業協同組合

ご挨拶

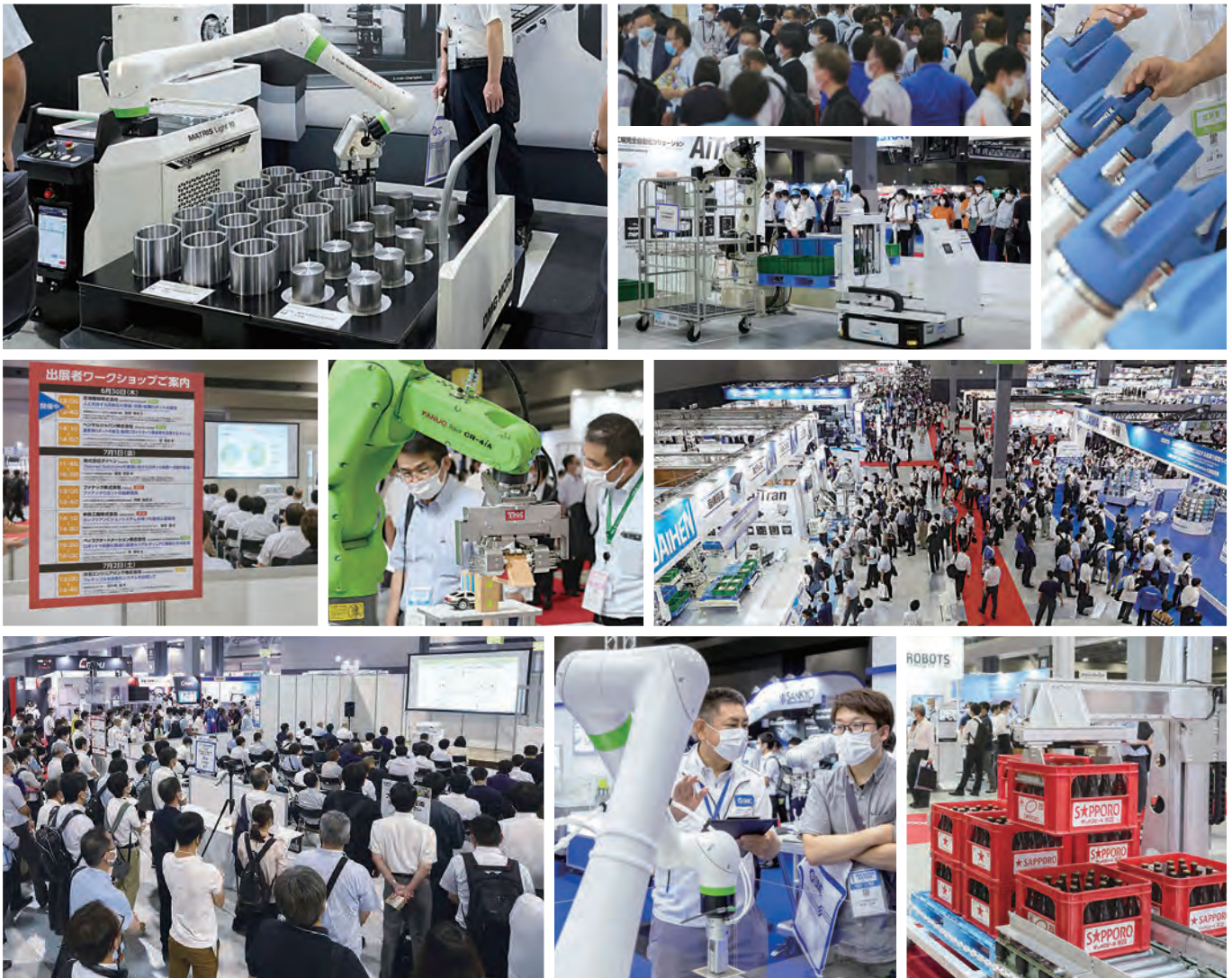
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN2022は、「製造業から物流、食品、包装まで自動化の未来が見つかる」をテーマに、2022年6月30日(木)から7月2日(土)の3日間、Aichi Sky Expoにて初開催され、皆様のご協力、ご支援により盛況に閉幕いたしました。

出展者数は202社・団体、1096小間で、Aichi Sky ExpoのホールC、D、Eを使用しました。来場者数は目標の30,000人を超える41,880人と多くの来場者をお迎えすることができました。

次回のROBOT TECHNOLOGY JAPANは、2024年7月4日(木)から6日(土)までの3日間、Aichi Sky Expoで開催する予定です。より一層内容を充実させるべく努力して参りますので、さらなるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 ニュースダイジェスト社

愛知機械工具商業協同組合



名 称	ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022 (略称:RTJ2022) (ロボットテクノロジージャパン)
テ ー マ	製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる
会 場	Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
開催期間	2022年(令和4年)6月30日(木)～7月2日(土)の3日間
開場時間	10:00～17:00
入場料金	1人1,000円/団体10人以上1人500円(いずれも消費税込み) ただし、事前登録者、海外来場者、学生は無料
主 催	株式会社ニュースダイジェスト社
共 催	愛知県機械工具商業協同組合
後 援	経済産業省、愛知県(順不同)
協 賛	(一社)日本ロボット工業会/FA・ロボットシステムインテグレータ協会、(一社)日本工作機械工業会、(一社)日本工作機器工業会、(一社)日本フルードパワー工業会、日本精密測定機器工業会、日本工作機械販売協会、(一社)日本物流システム機器協会(順不同)
出展製品	垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・IoT関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など ※サービスロボットや介護ロボットなどは対象外です
出展製品の用途	溶接、研磨、ハンドリング、検査、塗装、バリ取り、搬送、特殊作業、成形品取り出し、組み立て、はんだ付け、パワーアシスト、包装、洗浄、ピッキング、生産効率向上・省人化関連システム など
展示規模	出展者数 202社・団体 / 出展小間数 1,096小間
来場者数	41,880人
セミナー企画展示	<ul style="list-style-type: none"> ●スペシャルセッション 6/30 これからのロボットの使い方 ●併催イベント 7/1 Sler's Day in 愛知 ●特別セミナー 7/2 新分野に学ぶロボット活用術 ●産業ロボット体験ゾーン

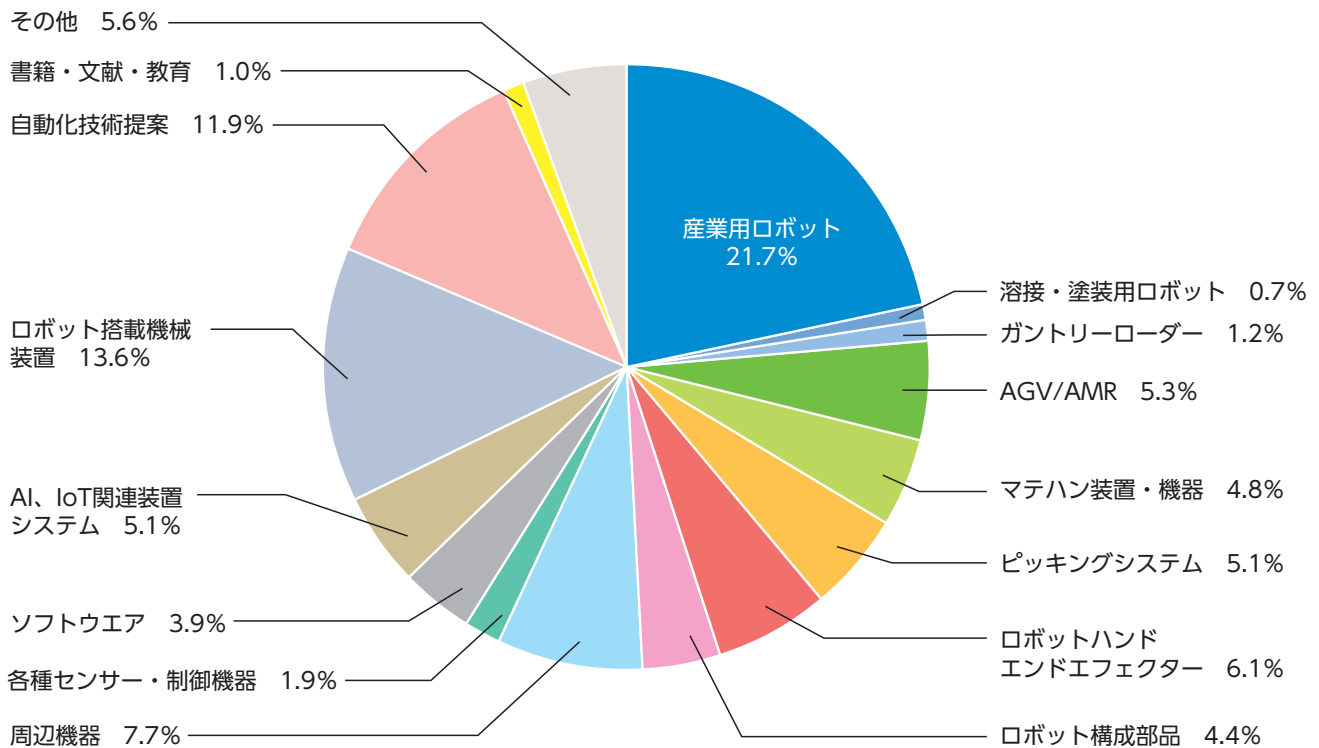
展示規模

展示会場はAichi Sky ExpoのホールB、C、Dを使用し、初開催となりました。

出展者数は202社・団体で、1,096小間での開催となりました。

出展社数	出展小間数
202社・団体	1,096小間

展示分野別割合



分 野	割合
産業用ロボット	21.7
溶接・塗装用ロボット	0.7
ガントリーローダー	1.2
AGV/AMR	5.3
マテハン装置・機器	4.8
ピッキングシステム	5.1
ロボットハンド・エンドエフェクター	6.1
ロボット構成部品	4.4
周辺機器	7.7
各種センサー・制御機器	1.9
ソフトウェア	3.9
AI、IoT 関連装置・システム	5.1
ロボット搭載機械・装置	13.6
自動化技術提案	11.9
書籍・文献・教育	1.0
その他	5.6
合計	100.0

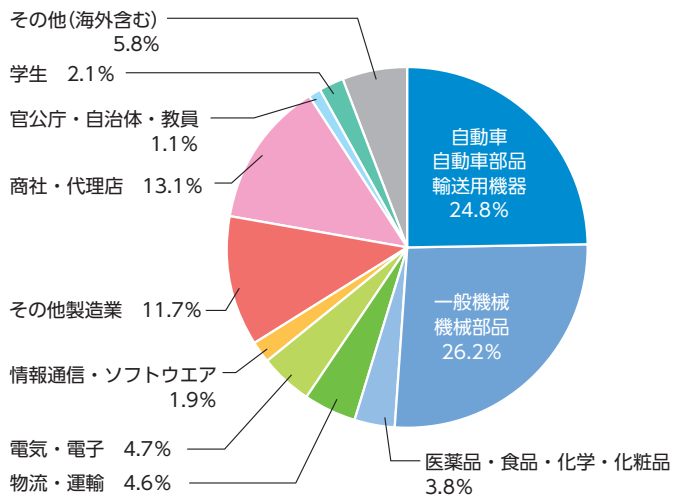
(単位：%)

3 来場者について

来場者数

日目	月日(曜)	天候	合計(人)
1	6/30(木)	晴れ	14,887人
2	7/1(金)	晴れ	18,320人
3	7/2(土)	晴れ	8,673人
合計			41,880人

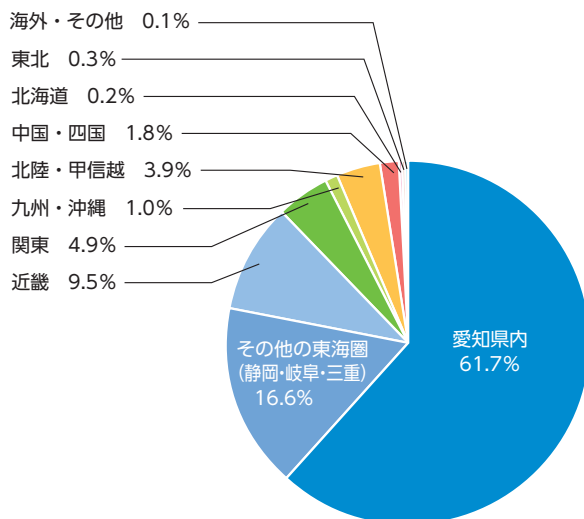
業種別来場者数



業種	割合
自動車・自動車部品・輸送用機器	24.8
一般機械・機械部品	26.2
医薬品・食品・化学・化粧品	3.8
物流・運輸	4.6
電気・電子	4.7
情報通信・ソフトウェア	1.9
その他製造業	11.7
商社・代理店	13.1
官公庁・自治体・教員	1.1
学生	2.1
その他(海外含む)	5.8
合計	100.0

(単位：%)

来場者地域分析



来場者	割合
愛知県内	61.7
その他の東海圏(静岡・岐阜・三重)	16.6
近畿	9.5
関東	4.9
九州・沖縄	1.0
北陸・甲信越	3.9
中国・四国	1.8
北海道	0.2
東北	0.3
海外・その他	0.1
合計	100.0

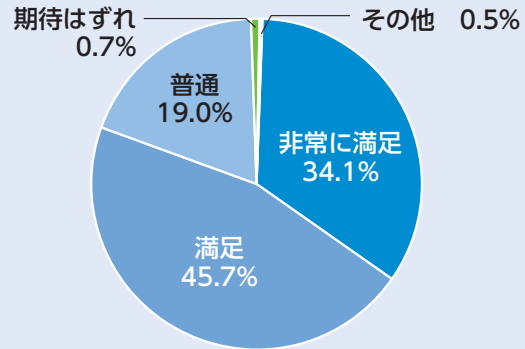
(単位：%)

4 来場者アンケート

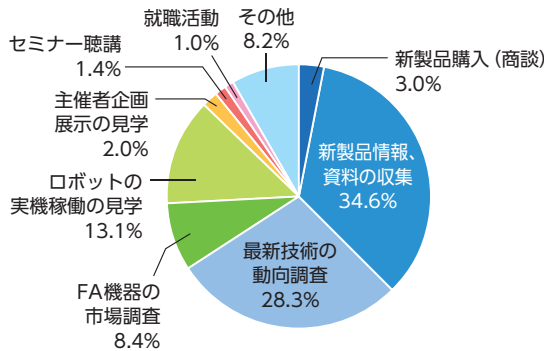
満足度 (回答数807人)

展示会の満足度をお聞かせください (5段階)

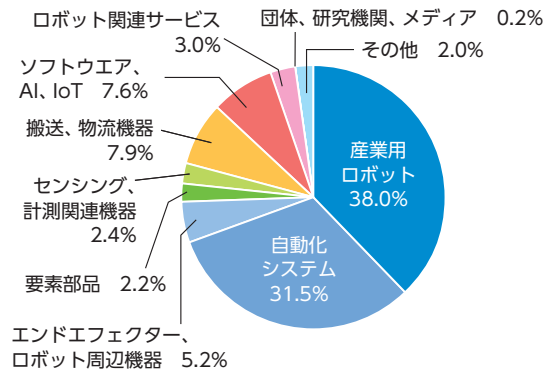
「非常に満足」
「満足」が **80%**



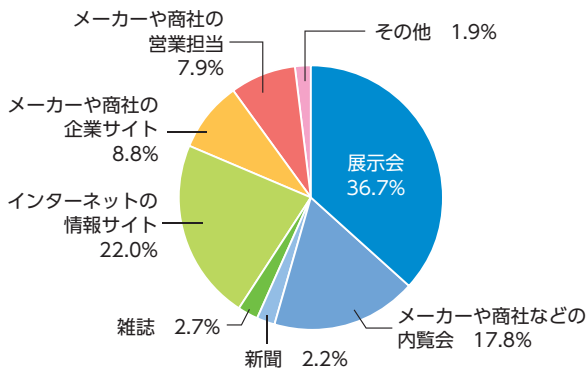
来場の目的に最も近いものは?



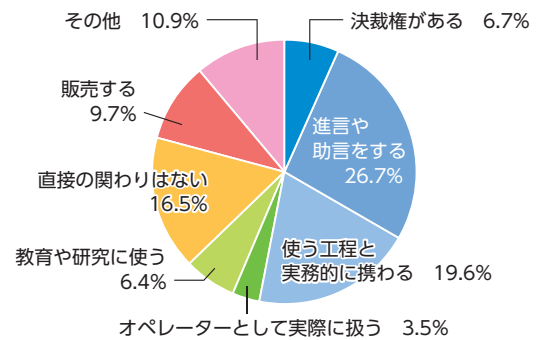
特にどの製品に興味がありましたか?



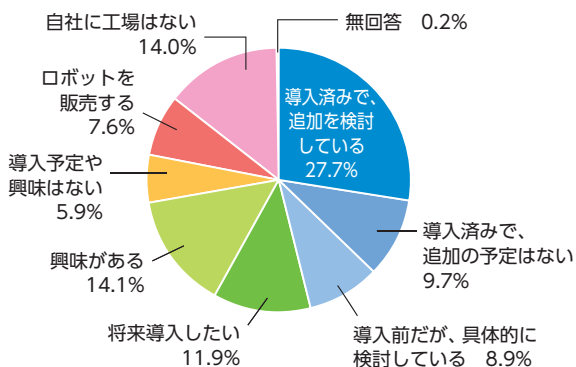
どのように機械設備の情報を収集しますか?



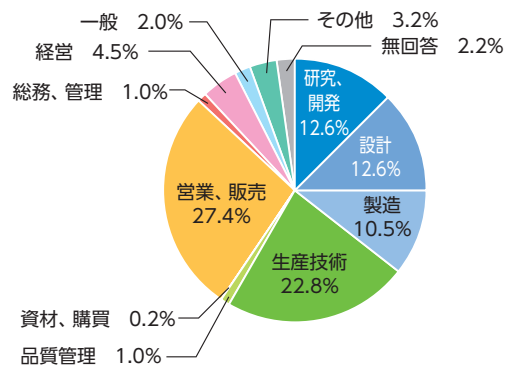
ロボットの導入にどのようにかかわりますか?



ご自身が務める工場や研究所での産業用ロボットの導入状況は?



職種は何ですか?

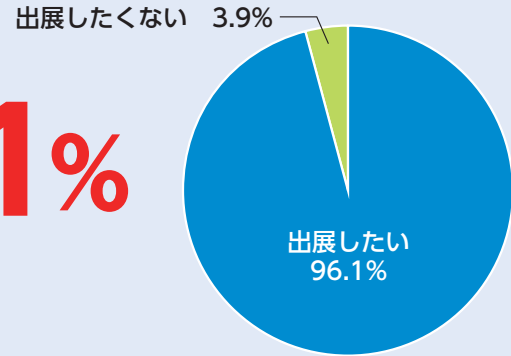


5 出展者アンケート

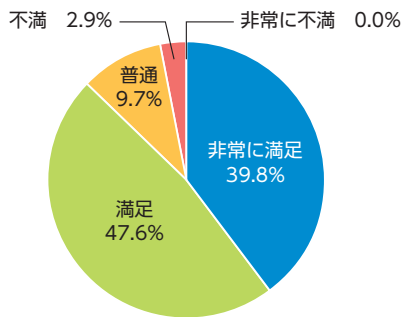
次回出展について (回答数145社)

次回のRTJ2024に出展したいですか? (2段階)

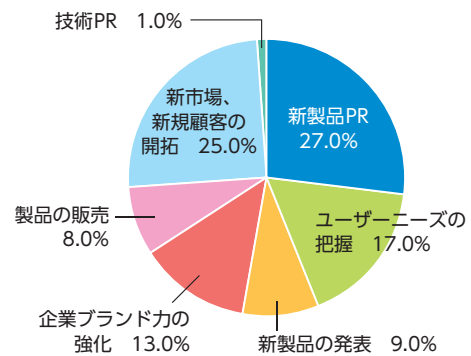
「出展したい」が **96.1%**



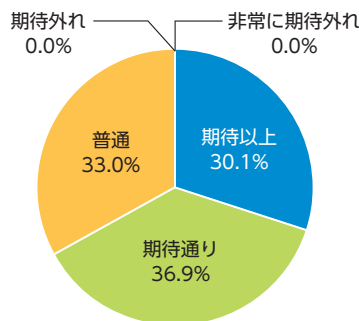
出展の満足度について (5段階)



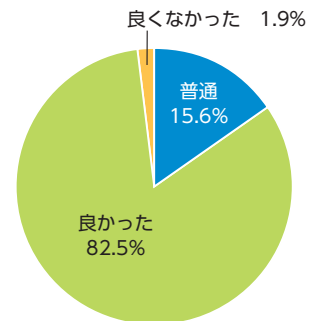
本展への出展目的は何ですか?



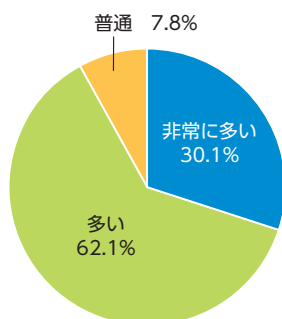
事前の目標や目的に対して、本展での達成度合いはいかがでしたか? (5段階)



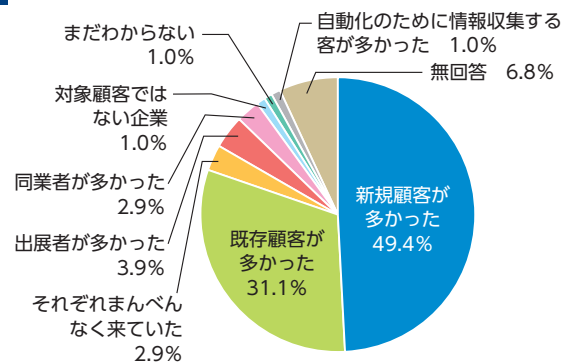
会場全体の来場者数や熱心さに対する印象はいかがでしたか?



全体の来場者数について、どう評価されますか?



貴社ブースを訪れた来場者層を教えてください。



6 開会式・主催者企画セミナー・展示

開会式 日時/6月30日(木) 9:30~10:00 会場/主催者ステージ(ホールD) **出席者数 141人**



登壇者 / ニュースダイジェスト社 代表取締役社長
樋口 八郎
愛知県機械工具商業協同組合 理事長
水谷 隆彦
愛知県 知事
大村 秀章 様
経済産業省
製造産業局産業機械課ロボット政策室長
大星 光弘 様
一般社団法人日本ロボット工業会 会長
山口 賢治 様
デンソーウェーブ 代表取締役社長
相良 隆義 様

主催者企画セミナー・展示

スペシャルセッション これからのロボットの使い方 **聴講者数 269人**

ロボット・自動化専門のウェブマガジン「robot digest」コラボレーション企画。人工知能(AI)や自立移動型ロボットアームなど、ロボットの限界を広げる技術が次々に開発されています。2030年にロボットはどう進化し、日本の製造現場をどう変えていくのかを業界をけん引するフロントランナーがスペシャルセッションで語り合いました。



登壇者
ファナック 専務執行役員 ロボット事業本部長
稲葉 清典 氏
安川電機 代表取締役 専務執行役員 ロボット事業部長
小川 昌寛 氏
デンソーウェーブ 執行役員 FAプロダクト事業部事業部長
神谷 孝二 氏
ABB 社長兼ロボティクス&ディスクリット・オートメーション事業本部長
中島 秀一郎 氏
(オブザーバー)
経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室 室長
大星 光弘 氏
司会: robot digest 編集長 **八角 秀**

日時	6月30日(木) 13:30~14:50
会場	主催者ステージ(ホールD)

併催イベント Sler's Day in 愛知 **聴講者数 178人**

ロボットのシステムインテグレーター(Sler、エスアイアー)の団体であるFA・ロボットシステムインテグレータ協会が、Sler同士やSlerとロボット導入検討企業が交流を図るためのイベント「Sler's Day」を開催しました。



プログラム

- ・開会挨拶
- ・ロボット導入を成功させるためのポイント
- ・ロボット導入事例紹介
- ・Sler 協会の紹介
- ・Sler 企業の紹介
- ・ロボット SI リーグの紹介
- ・ロボット関連施策紹介
- ・閉会挨拶

日時	7月1日(金) 13:00~16:00
会場	主催者ステージ(ホールD)

特別セミナー 新分野に学ぶロボット活用術

製造業や物流業の枠を飛び越え、農作業や宇宙作業まで広がったロボットの活躍の場を紹介したセミナーを開催しました。併設してセミナーで紹介した「自動ミニトマト収穫ロボット」「宇宙船外汎用作業ロボット」を展示し、来場者の理解を深めました。

特別セミナー01 自動ミニトマト収穫ロボット

聴講者数 **169人**



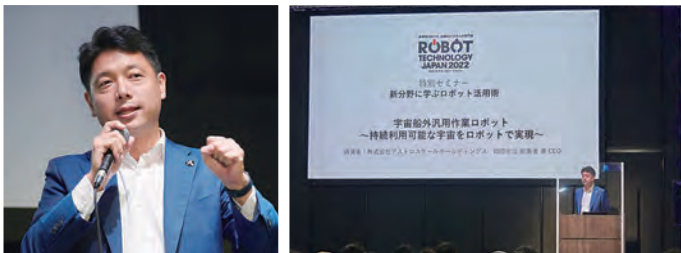
登壇者 inaho 代表取締役 COO
大山 宗哉氏

日時 7月2日(土) 10:30~11:15

会場 主催者ステージ (ホールD)

特別セミナー02 宇宙船外汎用作業ロボット

聴講者数 **182人**



登壇者 アストロスケール 創業者兼 CEO
岡田 光信氏

日時 7月2日(土) 11:30~12:15

会場 主催者ステージ (ホールD)

特別展示

ステージに隣接する展示ゾーンで、特別セミナーのテーマでもある「農業ロボット」と「宇宙ロボット」に関する製品や部品、映像などを展示しました。

〔展示協力〕 inaho/アストロスケール、オーエスジー



主催者企画 産業用ロボット体験ゾーン

協力：中部地域Sler連携会、伊藤電機

各種ゲームを通じて、産業用ロボットの魅力と理解を深めてもらう体験ゾーンを設置しました。安全性や扱いやすさなどを感じてもらうことで導入を検討中の方、新しい導入のかたちを模索している方へのヒントづくりを目指しました。

7月1日(金)は、常滑市内の小学生218人の見学会を開催し、日常生活では目にする事のない産業ロボットの魅力を伝えました。



日時 6月30日(木)~7月2日(土)開場日は終日展示

会場 産業用ロボット体験ゾーン (ホールC)

01 ロボット実習装置体験

協力：中部地域Sler連携会 (パイナス)

02 ダイレクトティーチング体験

協力：ABB/中部地域Sler連携会 (スターテクノ)

03 つみきタワー対決

協力：中部地域Sler連携会 (近藤製作所)

04 スイスイボードレース

協力：中部地域Sler連携会 (近藤製作所)

05 ハンバーガー包装競争

協力：中部地域Sler連携会 (スターテクノ)

06 AIロボットオセロ対局

協力：伊藤電機

宣伝広告

●新聞、雑誌、ウェブなどの広告媒体への出稿

数多くの有力な産業誌をはじめ、全国誌や業界誌などに幅広く掲載しました。

新聞 広告			
掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
6/5	日本産機新聞	6/22	日刊工業新聞
6/8	日刊工業新聞	6/22	中部経済新聞
6/10	日本物流新聞	6/22	オートメーション新聞
6/14	中部経済新聞	6/23	日本経済新聞 (中部)
6/15	日本経済新聞 (中部)	6/23	日経産業新聞
6/16	日経産業新聞	6/25	日本物流新聞
6/19	名古屋機工新聞	6/27	中部経済新聞
6/20	中部機工新聞	6/28	日刊工業新聞
6/20	中部経済新聞	6/29	中日新聞
6/21	日本経済新聞 (中部)	6/29	オートメーション新聞

雑誌 広告	
掲載日	媒体名
6月号	日経ものづくり
5/30	パッケージ&マシン通信 (日包工機関紙)
6/16	パッケージ&マシン通信 (日包工機関紙)
6月号	月刊食品工場長
6月号	月刊ロジビス
5月号	ロボット (ロボット工業会機関紙)
5月号	日工版 NEWS

など

WEB 広告	
掲載日	媒体名
6/2 - 6/30	ロボスタ
6/1 - 6/20	ITmedia MONOist
6/2 - 7/2	オートメーション新聞ウェブ版
6/20 - 6/30	Lnews
6/13 - 6/29	日経電子 Run of nikkei
	Google 広告
	Yahoo! 広告

など



【日刊工業新聞】



【日経電子版パナー広告】

●交通広告やテレビCM、Youtube広告

テレビCMや交通広告、Youtube広告などでも積極的にPRをしました。

電波 広告	
テレビ	ラジオ
東海テレビ CBC メーテレ 中京テレビ テレビ愛知	東海ラジオ CBC ラジオ FM 愛知 ZIP-FM



公式プロモーションCM

YouTube **311,410**回
再生回数 (2022年5月12日~7月7日)

交通 広告	
掲載場所	
名古屋駅コンコースシリーズアドビジョン	
金山駅エスカレーター側壁	
名鉄名古屋駅デジタルサイネージ	
名鉄車内吊り	
JR 東海道本線車内吊り	
愛知環状鉄道車内吊り	
JR 刈谷駅貼り	
愛知環状鉄道 三河豊田駅貼り	



【名鉄名古屋駅デジタルサイネージ】



【金山駅エスカレーター側壁】



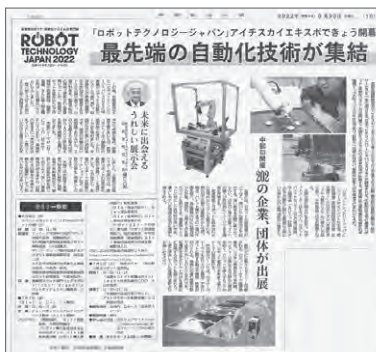
【名古屋駅コンコースシリーズアドビジョン】

メディアによる紹介

会期前の広告のみならず、多くのメディアがROBOT TECHNOLOGY JAPAN2022の特集号を発行しました。会期中には愛知のテレビニュース番組での紹介や、ラジオでも紹介されました。



【月刊生産財マーケティング2022年7月号】



【中部経済新聞】2022年6月30日



【日刊工業新聞】2022年6月29日



【日経産業新聞】2022年6月29日

公式ウェブサイト

公式ウェブサイトでは、出展募集活動や出展企業製品情報の発信、最新情報の発信などをしました。新型コロナウイルス対策の一環として、完全事前来場登録制を採用。また、オフィシャルメディア「robot digest」とコラボし、会場の最新情報や見どころをいち早くお届けする「会場速報」を配信しました。



【公式ウェブサイト】

公式ウェブサイト
アクセス数

1,132,797件
(2022年6月1日～7月3日)



【会場速報】

公式印刷物による紹介

会期前には、「開催案内セット」としてダイレクトメールを送付し集客に注力。会場では、出展者一覧や、出展製品情報を掲載した「公式ガイドブック」、「ポケットマップ」を配布しました。



チケット



公式ガイドブック



会場案内図



公式パンフレット

メールマガジンの配信

メカトロテックジャパンの来場者を対象としたメールマガジンを国内向けへ配信。また、各種媒体と連携しメルマガ広告を出稿し、公式ウェブサイトへの誘引を図りました。

主なメルマガ・メルマガヘッダー広告			
掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
5/13	ロボダイメルマガ (号外)	6/20	日経クロステック News ヘッダー広告
6/3	ロボダイメルマガ (号外)	6/23	ロボダイメルマガ (号外)
6/10	名古屋商工会議所	6/29	ロボダイメルマガ (号外)
6/15	日経ものづくり News ヘッダー広告	7/1	ロボダイメルマガ (号外)
6/17	ITmedia MONOist		など

フロア案内





出入口

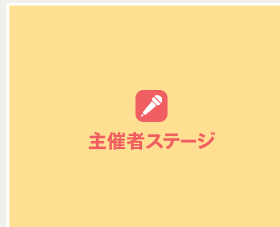


S1erゾーン



インフォメーション

ホールD



C06 FA・ロボットシステム
インテグレイタ協会

C07 日刊工業
新聞社

C08 DMカード
ジャパン

C09 FUJI

D01 SS1
TECHMAN ROBOT

D02 日本ビスコ

C22 滝澤鉄工所

C21 robot
digest

C23 SMC

C24 三共製作所

C25 テクトレ

C26 中西金属工業

C27 東京精密

エージェンシーアシスト

D04 グリーン
プラス

D05 Tech
Share

D08 柳瀬

D09 関東精機

D12 エンシュウ

D06 ビービー
ジャパン

D07 山本科学工具研究社

D10 東京彫刻
工業

D11 アクセル
レント
ジャパン

D13 スキノ
マシン

D14 前田シエルサービス
前田技研

D15 カトウ
工機

D16 ハンケル
ジャパン

D19 ファースト・オートメーション

D20 井上
鉄工所

D23 マグネスケール

D24 D25 高松機械
工業

D17 イチグチ

D18 ニッタ

D21 松本機械
工業

D22 エハオン

ジーベックテクノロジー

D27 日栄機工

D28 ネットロボティクス

D30 エスアンドエフ
Güdel

D31 中部部品加工協会

D29 ナガセインテグレッ
クス
ムーヴ

D32 エハ工業

D33 東亜精機
工業

D34 遠藤工業

D35 テクノ21
グループ

D36

D53 DMG森精機

C36 トルンプ

C37 伊東電機

C38 オリエンタル
モーター

C40 北川鉄工所

C41 岡本工作機械
製作所

C43 東京
エレクトロン
デバイス

C44 ツガミ

C45 CKD
CKD日機電装

エヌアイシ・オートテック

D37 テクノア

D39 ナベヤ

D40 テクロック

D41 倉茂電工
泉州電業

D43 ミテック

D44 アサ電子
工業

D45 ヤマハ発動機

D46

C56 ガイド
三機工業
デンソー

C57 村田機械

C58 ユニバーサルロボット

C59 データ
デザイン

C60 錦屋
バイテック会社

C61 トーヨー
エイテック

C62 SKS

C63 東野精機
ロボットシステムズ

C64 ホーコス

C65 キャプテン
インダストリーズ

エヌアイシ・オートテック

D48 森合
精機

D49 新潟
精機

D52 YATOMIエンジ
エリートロボット

D54 シナノ
ケンシ

D55 テクノダイナミクス
テストコ

D56 サン・フレア

D57 山陽マシン

D58 大昭和精機

D59 シュマルツ

D60 小原歯車工業

D62

D63

D64 芝浦機械

D65 オークマ

D66 ダイヘン

C68 アイエイアイ

C69 ヤマザキマザック

飲食エリア



出展者名	小間番号	出展者名	小間番号	出展者名	小間番号	出展者名	小間番号
あ		黒田精工	C47	DMカードジャパン	C07	二村機器	C31
アイエイアイ	C68	こうら	B23	DMG森精機	D53	ブラザー工業	C52
愛知県	C05	コスメック	C55	テクトレ	C25	フレアオリジナル	B20
アクセレントジャパン	D13	小原歯車工業	D63	テクノア	D37	ベッコフオートメーション	D62
アサ電子工業	D45	近藤製作所	B35	テクノダイナミックス デスタコ	D59	ヘンケルジャパン	D19
アマダ	C53	さ		テクノ21グループ	D36	豊和工業	B26
アラインテック	B07	桜井製作所	B06	テックロック	D40	ホーコス	C64
安藤	B31	三機	B40	データ・デザイン	C59	ま	
イチグチ	D18	三共製作所	C24	TechShare	D05	前田シェルサービス 前田技研	D16
伊東電機	C37	三桂製作所	C01	デンソーウェーブ	B44	牧野フライス製作所	C30
井上鉄工所	D23	サンゲン	D29	東亜精機工業	D32	マグネスケール	D24
イマオコーポレーション	C51	サン・フレア	D57	東京エレクトロンデバイス	C43	松本機械工業	D22
イリス	C02	三明	B45	東京精密	C27	三井物産マシンテック	B17
イワタツール	B28	山陽マシン	D56	東京彫刻工業	D11	ミットヨ	C66
エージェンシーアシスト	D10	三和ロボティクス	B18	東野精機 ロボットシステムズ	C63	ミテック	D43
ABB	C46	CKD	C45	トーヨーエイトック	C61	モニター	C16
エスアンドエフ Güdel	D31	CKD日機電装	C45	常盤産業	B16	Mujin	B38
SSI TECHMAN ROBOT	D01	ジーベックテクノロジー	D17	トライエンジニアリング	B27	ムラキ	C48
SMC	C23	ジェイテクト	C35	トルンプ	C36	村田機械	C57
SKS	C62	シギヤ精機製作所	C29	な		MODE	B10
エデックリンセイシステム	B04	シチズンマシナリー	D55	NalTO	B36	森合精機	D48
エヌアイシ・オートテック	D41	シナノケンシ	D54	ナガセインテグレックス ムーヴ	D27	モリタ 東京貿易テクノシステム PLANSEED	B41
エヌティーツール	C17	芝浦機械	D64	中西金属工業	C26	モリタアンドカンパニー	B32
エヌテック	B25	シュマルツ	D60	中村留精密工業	C32	や	
NTNテクニカルサービス	B15	スギノマシン	D14	ナベヤ	D39	安川電機	D47
エバオン	D25	スターテクノ 国盛化学 スター精機	B43	鍋屋バイテック会社	C60	安田工業	C14
エバ工業	D30	ゼネテック	B29	新潟精機	D49	YATOMIエンジ エリートロボット	D52
FA・ロボットシステム インテグレータ協会	C06	た		日栄機工 ネウラロボティクス	D28	柳瀬	D08
FNS	B01	大喜産業 鈴野製作所	B33	日刊工業新聞社	C08	ヤマザキマザック	C69
エンシュウ	D12	大昭和精機	D58	ニッタ	D21	ヤマハ発動機	D46
遠藤工業	D35	ガイドー 三機工業 デンソー	C56	日東工器	C13	山本科学工具研究社	D06
オーエスジー	D34	ダイヘン	D66	日本トムソン	C18	ユアサ商事 国興 中川金属 ユアサネオテック	B46
オークマ	D65	台湾機械工業同業公會	C03	日本ベアリング	C49	ugo	B02
岡本工作機械製作所	C41	高松機械工業	D26	日本機材	B39	豊電子工業	B30
岡谷鋼機 オフィスエフエイ・コム	B47	滝澤鉄工所	C22	日本ビスコ	D02	ユニバーサルロボット	C58
オリエンタルモーター	C38	立花エレテック 大豊精機	B03	ノガ・ウォーターズ	C33	ら	
か		中央工機		は		ラピュタロボティクス	C50
カサイ製作所 カサイエレック マルセン	B22	NTN		ハイウィン	C20	リケン	C54
カトウ工機	D15	カンブリアン社	B14	浜名エンジニアリング 三栄商事 プロキャスト	C28	リンクス	D50
川崎重工業	C34	スタンダード・ロボット社 Phoxter		ビーピー・ジャパン	D07	ロボテック ユニパルス	D51
関東精機	D09	中部地域Sler連携会	C04	ファースト・オートメーション	D20	robot digest	C21
北川鉄工所	C40	中部部品加工協会	D33	ファインテクノ ROBOSYSTEM	B34	ろ	
岐阜機械商事 タイム技研	B24	ツガミ	C44	ファナック	B37	り	
キャプテンインダストリーズ	C65	津田駒工業	B08	FUJI	C09	る	
クラボウ	B12	ティ・アイ・エス	B05	富士精工 志賀機械工業	B21	る	
倉茂電工 泉州電業	D44	THK	C67	る		る	
グリーンプラス	D04						

※(株)、(有)などは省略





2023年日本最大級の工作機械見本市

MECT 2023

10.18^{WED} - 21^{SAT}

会場 ポートメッセなごや

開催時間 10:00 - 17:00

20日(金)は18:00まで 最終日21日(土)は16:00まで

メカトロテック ジャパン 2023

MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

大人1人1,000円(税込) 10人以上の団体は1人500円(税込) 公式ウェブサイトからの事前登録者、海外来場者・学生は無料

工作機械、助圧・板金加工機、射出成型機、3Dプリンター、機械工具、旋削工具、切削工具、工作機器、測定機器、試験機器、研削砥石、研磨材、油圧・水圧機器、産業・農業装置、環境・安全対応機器装置、CAD/CAM/CAE、制御装置、関連ソフトウェア、産業用ロボット、搬送装置、洗浄機械装置、品質管理・安全・試験認証機関、新素材、マイクロマシン、ナノテクノロジー関連など

主催：(株)ニュースダイジェスト社 共催：愛知県機械工具商業協同組合

mect-japan.com/2023

メカトロテックジャパン



ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

次回開催予定

2024年7月4日(木)～6日(土)

問い合わせ先

MECT事務局 (株)ニュースダイジェスト社 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3
Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457 Email: nd@mect-japan.com